Creative Enzymes®

E. coli由来のβ-ガラクトシダーゼ、組換え（EIAグレード）

Cat. No. NATE-0986

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	β-ガラクトシダーゼ（ベータガルまたはβ-galとも呼ばれる）は、β-ガラクトシドを単糖に加水分解する加水分解酵素です。さまざまなβ-ガラクトシダーゼの基質には、ガングリオシドGM1、ラクトシルセラミド、乳糖、およびさまざまな糖タンパク質が含まれます。
用途	抗体および抗原酵素コンジュゲートの製造のためのマーカー酵素で、比色法および蛍光法による□出のための免疫測定に組み込まれています。
別名	β-ガラクトシダーゼ; ベータガル; β-ガル; ラクターゼ; β-ラクタシダーゼ; マキシラクタ; ハイドロラクタ; β-D-ラクタシダーゼ; トリラクターゼ; β-D-ガラクトナナーゼ; β-D-ガラクトシドガラクトヒドロラーゼ; β-ガラクトシダーゼ EIA グレード

製品情報

由来	E. coli
外□	白色の凍結乾燥物、リン酸緩衝液とスクロースで安定化されています。
CAS登□番号	9031-11-2
分子量	465 kDa
活性	> 700 U/mg タンパク質
等電点	4.61
pH安定性	6
最適pH	8
熱安定性	+37°Cまで
ミカエリス定数	トリスバッファー、pH 7.6、+20°C / 関係率: 2-ニトロフェニル-β-ガラクトシド: 9.50 x 10-4 mol/l / 1.00 フェニル-β-D-ガラクトシド: 3.23 x 10-3 mol/l / 0.05 ラクトース: 3.85 x 10-2 mol/l / 0.06 4-ニトロフェニル-β-ガラクトシド: 4.45 x 10-4 mol/l / ~0.50
構造	4つの同一のサブユニットを持つβ-ガラクトシダーゼは、炭水化物を含んでいません。
活性化因子	Mg2+ および Na+（または他の一価カチオン）は、活性に不可欠です。

保管・発送情報

安定性	-15から-25°Cの範□内で、仕□に従って24ヶ月間保存してください。窒素下で保管してください。